

## 会議録【概要】

日時：令和6年9月26日（木） 16：00～16：50 会場：岩手県立宮古北高等学校 大会議室

会議名：令和6年度 岩手県立宮古北高等学校 第2回学校運営協議会

進行：鈴木明宏（宮古北高等学校／副校長） 記録：舘洞菜奈美

出席者：【学校運営協議会委員】早川輝氏（NPO 法人みやっこベース理事長）、藤田恵氏（田老福祉センターセンター長）、加藤洋一郎氏（加藤昇一商店店主）、田中和七氏（田老地区復興まちづくり協議会会長）、伊藤広子氏（東日本信用漁業協同組合連合会宮古山田支店）

三浦顕悟（宮古北高校校長）、鈴木明宏（宮古北高校副校長）、浜田孝高（宮古北高校事務長）

### 【次第及び主な発言】

#### 1 開会

#### 2 学校長挨拶

#### 3 学校概況説明

#### 4 協議・情報交換

##### ① 令和6年度「高校魅力化評価システム」を活用したアンケート調査分析・評価について

- ・「この学校に入って良かった」と感じている生徒が多いことは、大変良いことである。生徒の表情や挨拶に何か変化は見られるか。  
→特に大きな変化は見られない。
- ・ジョブシャドウイングは都合がつかず、参加できなかった。
- ・トークフォークダンスで生徒と対話したときにはあまり感じられなかったが、感想をもらおうと自分の考えを話せる生徒がいた。また、地域活動では、参加する生徒と参加しない生徒の二極化が見られる。これまであまり参加してこなかった人が参加できる仕掛けづくりをお願いしたい。
- ・卒業してから、生徒が学校は楽だったから良かったと考えるのではなく、学びがあったと感じてほしい。
- ・高校に入学した子どもたちの表情が明るく、挨拶もしてくれるので嬉しい。子供たちが成長できるよう背中を押してほしい。

##### ② 宮北祭について

- ・人員も少ないとのことなので、地域の方と一緒にできることを試みてはどうか。  
→是非、検討していきたい。

#### 6 質疑応答・学校運営協議会委員助言

- ・高校生の活動を見ることができるよう、行政の協力を仰いで地域高齢者を送迎してみてもどうか。
- ・昨年度の宮北祭は保護者の参加が多く、地域住民の参加は少なかったように思う。地域住民と一緒に活動することで、来場者も増えるのではないか。
- ・アンケートでは、生徒が自分から行動を起こすことが少ないという結果だった。生徒が興味を持てるよう背中を押してほしい。
- ・学年ごとのアンケート結果を見たい。また、社会に出てからのことを考えると、本会議などに生徒を出席させ、意見を聞いてみても良いかもしれない。
- ・広いグラウンドを畑にして、育てた作物を文化祭で販売してはどうか。生徒に育てる責任と後輩に伝えていく力を養うことができるのではないか。
- ・10月20日（日）に消防署の訓練会場に使用したいという申請が来ると思う。

#### 7 閉会